

/// 兵庫医科大学病院のチーム医療 ///

所属部署の垣根を越えた

18の医療チームが さまざまな活動をしています



チーム医療とは、高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが互いに連携し合って医療を提供すること。兵庫医科大学病院には、専門職種のメンバーが所属部署を越えて集まる18のチームがあります。患者さんの状況に合わせて活動するこれらのチームを、6回にわたりご紹介します(第1回)。



病院や地域を感染から守る

感染対策チーム(ICT)

院内感染を防止するために多職種で構成されたチームです。病棟、外来、検査室などあらゆる所で感染が生じないように、対策や職員への教育を行っています。また、抗菌薬耐性菌、ウイルス感染などが発生した際には拡大防止の対策を行っています。さらに、阪神地区の医療機関とも連携をはかり、地域の感染症対策の向上に努めています。

【構成メンバー】医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士

患者さんのQOLを下げる褥瘡を予防

褥瘡対策チーム

「褥瘡(じょくそう)」とは、ベッドのマットレスや車椅子などと接触する部分の皮膚にできるただれや傷のこと。長時間圧迫されて血液の流れが悪くなったり、ずれや摩擦が生じたりすることで起こります。患者さんの日常生活に支障をきたすこともあるため「予防」に最も力を入れて活動しています。

【構成メンバー】医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士



入院患者さんの栄養管理・退院指導を行う

栄養サポートチーム(NST)

入院中に特別な栄養管理が必要となった患者さんをサポートします。多職種のチームメンバーがそれぞれの専門知識を共有しながら、患者さんの栄養状態を的確に把握し、栄養状態の改善や治療効果の向上、機能回復を目指して、病態に応じた適切な栄養管理法をご提案します。

【構成メンバー】医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士



兵庫医科大学病院では、ここで紹介する18チームの活動以外にもチーム医療をますます推進し、患者さんとご家族のQOL(生活の質)を高める、安心・安全な医療を提供してまいります。